

せてもらったところでも、お客さまの顧客情報とか、みんなパソコンで管理してるはずだよ」と。「この前、いつ来てくださった。この方はこういう頻度で来て、こういう施術をやっていたら、こうでと。そうしたら、次に、こういうことをお勧めしてみようとかなるでしょ」と言ったら、次からちょっとまじめにやっていました。そういう一人ひとりの生徒の継続的な変化をいかに教員のほうがかんがえていけるかということが大事かなと思っています。

最後に、やはり卒業率というのは一つの目安かなと、このごろ思います。これは学校全体の実践の結果で、キャリア教育の取り組みの結果だけを示すものではありませんけれども、高校卒業資格というのは、やはりほとんどの場合、キャリアの出発だと思えます。でも、本校のような学校では、高校中退というのは決して珍しいことではありません。それをいかに避け、生徒に学ぶ意味を感じてもらいながら卒業まで持って行けるかというのが、私たちの勝負であると思えます。

先ほど示したグラフをもう一回お見せする時間はないのですが、実は「卒業率」と「未定その他」には、負の相関があります。「卒業率」が高い年のほうが、若干ですが「未定その他」が減る傾向があるのです。相関係数を取るとそれが出てきます。もちろん、「未定その他」は、先ほど言ったように、より大きく「就職」の増減に影響を受けています。しかし、それより弱いのですが「卒業率」とも有意な負の相関を示すのです。つまり、これは仮説ですけれども、進路について気持ちが定まっていくことが、卒業へと結びついていくのかなと。そこでその進路ということをはさんで、たくさん大人とコミュニケーションをしていく環境をつくっていったらどうかと。教員も地域の方も、それが卒業へ結びついていくのかなというように、ちょっと思っています。

、時間がきてしまっています。本当はキャリア教育を育てるための組織の話というのも、今日は少し用意してきたのですが、お話する時間がありません。ごく簡単に言えば、私は、美しい計画づくりから始める必要はないと思っています。学校が全面改編になって再編になった学校について、最初から新しいカリキュラムをつくるのなら別ですけれども、そうでない多くの高校にとっては、一つひとつ積み上げていき、生徒の反応を見て、それをだんだん結び合せて大きなものにしていくほうが、私は現実的だと思いますし、本当に生徒のためになるキャリア教育ができるのではないかなと、思っています。

そのためにはやはり職場の雰囲気も大切だと思います。新しいことをやると失敗はつきものなので、それをお互いに責め合うような職場ではなく、協働できる職場というのが第一だろうと思えますし、外部との連携を担うというところでは、さまざまな負担もあるので、上手に、組織的にも工夫が必要ではないかと思えます。うちは今、授業時間数を軽減したキャリア教育コーディネーターを置くなど、いろいろ工夫しているのですが、組織的な意味での工夫もいろいろ必要かなと。また管理職の先生の果たす役割というのも非常に大きいかなと思っています。

すみません、時間のほうがオーバーしてしまいましたが、これで結びたいと思います。キャリア教育を進める上では、やはり学校の教員がもっと社会を見つめることが必要だと思います。今の雇用情勢の厳しさを前に、生徒にどんな力をつけてあげたいのかということをもっと考えていけないといけないかと、私は田奈高校で学ばせていただいています。

ご清聴どうもありがとうございました。


○司会 吉田先生、ご発表どうもありがとうございました。地域のさまざまな教育資源を活用し、また、学校や生徒の実態に即したプログラム、運営という、大変役に立つお話であったように思います。



重層的キャリア教育
—地域のさまざまな資源を生かして—

神奈川県立田奈高等学校
吉田 美穂

神奈川県立田奈高校



- 全日制普通科 創立31年目
- 田園都市線・青葉台駅からバス10分

キャリア教育をどう構想するか

- 目の前にいる生徒の状況を見つめることから

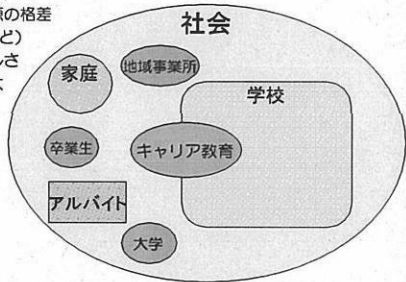
↓

学校ごとに異なる生徒の状況に合わせ、
学校づくりの中に位置づけて考える

- そのために、生徒を囲む環境と資源に注目する

生徒をとりまく世界

- 社会の変化
 - 家庭の持つ資源の格差 (経済・情報など)
 - 高卒就職の厳しさ
 - 非正規雇用増大
 - 消費社会

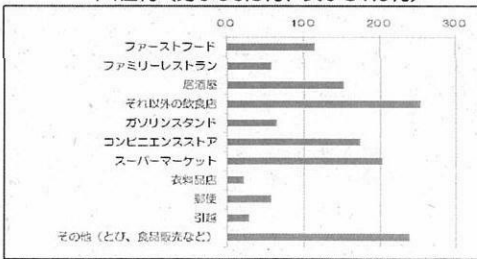


田奈高校の生徒は・・・

- 学力の面で課題を抱えている生徒が多い。
⇒自信のなさ、大人への不信感
- 厳しい経済状況。
進学を選択できないことも少なくない
- 不安定な家族環境も少なくない。

田奈校生のアルバイト

- アルバイト経験率 (1年次3月)
74.2% (男子66.3%、女子81.0%)



アルバイトの種類	人数 (推定)
ファーストフード	100
ファミリーレストラン	80
居酒屋	150
それ以外の飲食店	250
ガソリンスタンド	100
コンビニエンスストア	180
スーパーマーケット	200
衣料店	50
郵便	80
引越	50
その他 (とび、食品販売など)	180